

第9回多摩川流域歴史セミナー 開催報告（速報版）

2020年1月18日（土）

午前の部：「多摩川を歩く—府中編—」 ふるさと府中歴史館～府中市郷土の森博物館 9:30～12:00

午後の部：「講演『古代多摩川追想-近世における歌枕の歴史』」 府中市郷土の森博物館 1階会議室 13:00～16:00

参加者：午前の部 32名・午後の部 39名（スタッフ含む）

主催：多摩川流域懇談会

共催：多摩川流域協議会

午前の部：多摩川を歩く～府中編～



■当日の様子

当日は、ふるさと府中歴史館をスタートし、武蔵国府跡（国衙地区）、大國魂神社、武蔵国府跡（国司館地区）、三千人塚などの見学スポットを巡りました。

見学スポットでは、府中市の江口氏（府中市文化スポーツ部ふるさと文化財課長）から丁寧な解説があり、参加者からは様々な質問が挙がりました。

また、途中の大國魂神社では、境内や宝物殿を神職の方に非常に分かりやすく案内していただきました。

当日は雪が降り始めるなど、非常に寒い中での開催となりましたが、ガイドの熱心なお話により、寒さを忘れるひと時を満喫することができました。

■開会挨拶：神谷 博氏（多摩川流域懇談会 運営委員長）

神谷氏からは、多摩川流域懇談会の説明や本日のセミナーのプログラムについて説明がありました。

■見学地の説明

見学スポットやその他歴史的な見所については、府中市の江口氏から解説があり、府中の歴史に関する貴重な説明をしていただきました。



江口氏

■閉会挨拶：齋藤 勝紀氏（京浜河川事務所 調査課長）

齋藤氏から、午前の部の閉会挨拶をしていただきました。

■まとめ

今回の多摩川を歩くは、非常に寒いなか多くの方にご参加いただきました。大國魂神社に何度も足を運んでいるという参加者も、今回のイベントで解説してもらい、まだまだ知らないことがたくさんあった、と驚かれていました。

